
また明日

Uka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

また明日

【Nコード】

N2838A

【作者名】

Uka

【あらすじ】

『社会』にでて変わること。自分を失わないで。

「はあ…」
すっかり冷えた夜の公園で、私はベンチに座りながら溜め息をついた。

今日は久しぶりに仲の良い友達と飲んで、心の底から笑ってきた。それなのに…なんでかなあ。例え仲良しでも、みんな『社会』っていう大きな世界にでていくと、昔みたいに無邪気なままじゃいられなくなるのかなって…会社がどうとか、上司がどうとか… うん。分かるよ。私だって働いてるから。でも…

『なんだかんだ言ったってもう子供じゃないんだしね。勢いだけで進めないよ』なんか淋しかった。

友達の言ってる事が分からないわけじゃない。それもそうだと思う。

けど… けどね、

例え『社会』って壁が大きくても、昔みたいに無邪気で勢いがあったてもいいんじゃないかって私は思う。

確かに、自分を殺してでも周りに合わせたり、合わせてたつもりでも衝突したり、正直ウンザリする事なんていくらでもある。

『やっつてらんない』

なんてしょっちゅう思う。でも、私はそこで守りの態勢に入ってしまうのだけは嫌だった。どれだけ衝突してでもいいから、自分の中にある勢いだけは消したくない。

そう思ってた。

友達も社会人やる前はそう言ってた。だから…

なんか淋しかった。

「やっつぱ変わっちゃうのかなあ」

私は独り言を言った。

私はまた、大きな溜め息をついてベンチ

から立った。

例えみんなが変わってしまっても、私は私でやればいい。
りになんか入るもんか。 負けてたまるか。

守

「うっしっ!!」

気合いを入れた。

また明日が始まる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2838a/>

また明日

2011年1月23日14時59分発行